

西部3Rステーションでは、体験コーナーや各種講座を開催しております。福岡市内にお住まいの方なら、どなたでもご参加いただけます。身近な3Rを体験してみませんか？

自然環境写真展

～身近ないきものたち～
期間/8月1日(水)～8月15日(水)
10:00～17:00
場所/多目的ホール
参加費/無料

西部3Rステーション
ツキイチフリーマーケット
開催

日時/8月5日(日)
10:00～15:00
場所/西部3Rステーション

・体験コーナー!(毎週開催)・
新メニュー増えました!!
すべて無料です!

水曜日

- 時間 10:30～11:30
- 定員 10名/日(先着順)
- 申込締切 希望日の7日前まで

廃食用油でハープ石けん作り



土曜日

- 時間 10:30～15:30(随時)
のうち、1時間程度
- 定員 10名/日(先着順)
- 申込締切 前日まで

木の枝でキーラック作り



木の枝でえんぴつ作り



廃ガラスの工作



日曜日

- 時間 10:30～15:30(随時)
のうち、1時間程度
- 定員 10名/日(先着順)
- 申込締切 前日まで

牛乳パックでゴム動力自動車作りや紙すき



空き瓶をおしゃれにリメイク



紙すきしおり・砂絵カード作り



裂き織り体験!コースター作り



1日6名
(先着順)

3R実践講座

そばがらと古布で快眠枕作り

日時/8月23日(木) 13:00～16:00
場所/2階研修室 定員/8名(抽選)
参加費/500円 応募締切/8月16日(木)必着
持ってくるもの/裁縫道具一式



夏休み自然体験!～ディキャンプ～

日時/8月25日(土) 10:00～14:00
場所/今宿野外活動センター 定員/30名(抽選)
参加費/500円(弁当込み) 対象/小学生以上
応募締切/8月18日(土)必着 備考/現地集合・解散

牛乳パックでめがね立て

日時/9月4日(火) 13:00～16:00
場所/2階研修室 定員/15名(抽選) 参加費/100円
応募締切/8月28日(火)必着
持ってくるもの/牛乳パック2本(開かない) 木綿布30×20



古布でぞうり作り

日時/9月6日(木) 13:00～16:00
場所/2階研修室 定員/15名(抽選) 参加費/100円
応募締切/8月30日(木)必着
持ってくるもの/木綿地で幅7cm×30m以上を包帯状
(直径5～6cm)に巻いたもの



応募方法

往復ハガキかFAXに①希望講座②住所③氏名④年齢
⑤電話番号を明記のうえ、ご応募ください。
〒819-0162 福岡市西区今宿青木1043-2
Fax 092-882-4580

生ごみ堆肥相談会

生ごみの堆肥化でお困りの方は何でも相談下さい。
参加費/無料 事前申込/不要
●ふくおか環境倶楽部主催
日 時/毎週土曜日 13:00～16:00
●NPO法人循環生活研究所主催
日 時/毎月第2金曜日 10:30～14:00

ダンボールコンポスト講習会

ダンボールコンポストを始めてみたいという方、ご参加ください。
●ふくおか環境倶楽部主催
日 時/毎月第4土曜日 10:30～12:00
参加費/500円(基材・テキスト代込み)
事前申込/不要



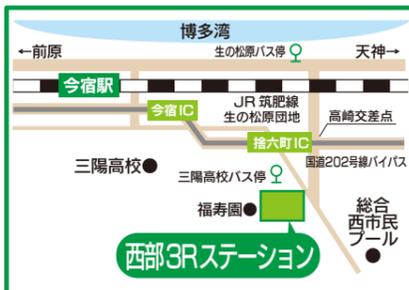
西部3Rステーション

ご利用案内

開館時間: 10:00～17:00
休館日: 月曜日(祝日の場合は開館し、
次の平日休館)
年末年始(12月28日～1月3日)
住所: 福岡市西区今宿青木1043-2
(クリーンパーク西部内)
TEL: 092-882-3190
FAX: 092-882-4580

ウェブサイト URL <http://www.fukuoka-seibuplaza.com>

福岡市西部3Rステーション 検索 西部3Rステーションのイベント情報や暮らしに役立つごみ減量3R情報が満載です!(ユーザー登録の受付は3月17日で終了いたしました)



●西鉄バス「三陽高校前」より徒歩約2分

活動支援

学習体験

情報発信

3R

福岡市西部3Rステーション情報誌

くるくる便利

2012.8
Vol.77

めざせ!
循環型
社会

1992年地球サミットから20周年
リオ+20(国連持続可能な開発会議)が開催されました!

1992年の地球サミットでは、気候変動枠組み条約や生物多様性条約が採択され「環境の世紀」の幕開となりました。その後、20年を経た今年6月、「国連持続可能な開発会議(リオ+20)」が場所は20年前と同じブラジルのリオデジャネイロで開かれました。

その会議で日本政府環境省は、地球全体の持続可能な開発を推進するため、日本国内において我々は、2050年に温室効果ガス排出を80%削減する低炭素社会、3Rを基調とした循環型社会、生物多様性を基盤とした自然共生社会を目指していくなどといった「環境省イニシアティブ」が提案されました。

一方、開幕セレモニーでは、ニュージーランドの学生で17歳のブリタニー・トリルフォードさんが「20年前の地球サミットで、皆さんは何かを変えると約束したが果たされていない。私は未来を勝ち取るためにきた」「私たちの将来は危機に瀕(ひん)している。ここに何のために来たのか、問いかけてほしい」と、各国首脳に直ちに行動するよう呼びかけました。また、会場には、20年前に当時、12歳で演説したセヴァン・スズキさんも民間団体の代表として参加し、「この20年、多くの会議に出てわかったことは、政治だけでは環境は変えられないということ。私たち自身が声を上げ、行動しなくてはいけない」と発言し、力強さを増していたそうです。

私たちもごみを減らすことなどできることから行動しましょう!

※参照: 環境省ホームページ



ワークショップ祭りを開催しました!!

平成24年7月16日(祝)に西部3Rステーションで環境ボランティア8団体が集う“ワークショップ祭り”を開催しました。

“ワークショップ祭り”は、不用になったものを使って新たなものを作る“体験型”イベントで、子どもから大人まで楽しみながら、ごみの減量や環境について考えるきっかけの場となりました。

会場では、少しでも暑い夏を涼しく過ごそうと“ペットボトルを使った風鈴”作りや“包装紙を使った風ぐるま”作りなど、様々な作品が参加者の手によってできあがっていました。

参加者からは、「今まで捨てていたものでも、アイデア次第でいろんなものに生まれ代わるのですね。」「不用なものを利用することで、ごみの減量につながるのですね。」との声が聞けました。



ペットボトルを使った風鈴



廃ガラスを使ったネームプレート



エコキャンドルで走るボンボン船

講座におじゃまします Vol.8

タオルで帽子作り

今回は、不用になったタオルを利用して“タオル帽子”を作る講座におじゃましました。帽子作りをしてくれるのは、ボランティア団体「エフロク」のメンバーの方々に、普段は、入院患者の方々のためにタオル帽子を作って届ける活動をされています。

講座は、受講者の皆さんが持参した様々な柄のタオルを使って、あざやかな帽子ができあがっていました。タオル帽子は、日よけの帽子の下に被って汗を吸収したり、冬は保温に役立ったりととても便利ですと参加者が語っていました。



『市民のごみ分別行動の実態』について 講演会を開催!!

平成17年度に開始された「家庭ごみの有料化」により、ごみの量はずいぶんと減り、また、市民ひとり一人のごみ減量・リサイクルの意識は確実に向上しています。

しかしながら、わたしたちが生活する中でどうしてもごみは発生します。

そこで、ごみの排出実態や意識調査などを行っている福岡大学工学部社会デザイン工学科の鈴木慎也助教に「市民のごみ分別行動の実態」をテーマに講演を行っていただきました。

空きびん・ペットボトルのごみ袋の中には、キャップやラベルが付いたままのペットボトルや中身が入ったままのもの、プラスチック容器、食品トレイなどが依然として多く混入しているようです。

燃えないごみ袋の中には、ガスが入ったままのスプレー缶も多く入っており、収集作業中に爆発・火災・負傷などの大変危険な事故が発生しているとのことでした。

また、蛍光灯は区役所・市民センター・3Rステーションなどへ、ボタン型電池などについては電器店などへ持って行くことで適正にリサイクルできるため、まだまだ市民ひとり一人が更に意識する必要があるようです。

集合住宅や単身世帯が多い都心部と一戸建てで世帯人員が多い住宅地で分別実態は異なりますが、わたしたちはごみを正しく分別(リサイクル)し続ける必要があります。

福岡市の「家庭ごみルールブック」には、分別方法や資源物の回収拠点などが詳しく掲載されていますので、みなさんも今一度見直して見ましょう!



今津日和

まだまだ寒かった2月に植え付けたジャガイモの種が春には芽が出て緑豊かな葉を繁らせ、花が咲きやがて葉の色が黄色になった頃の6月中旬にジャガイモを収穫しました。6月の青空の下での

収穫作業は気持ち良く、土の中で育ったジャガイモさんたちも地上に出て来て気持ち良さそうでした。

収穫は、小さいものから手のひらサイズの大きいものまで、大きさは様々でしたが立派に育ち、多くのジャガイモさんたちを見たときの喜びは最高です。是非、皆さんも生ごみ堆肥を使って家庭菜園にチャレンジしてみれば。



じゃがいもの収穫作業



収穫したじゃがいも